

令和4年度東御市総合交流促進施設（梅野記念絵画館・ふれあい館）運営委員会会議次第

日時：令和4年10月28日（金）午後14：30～

場所：本庁舎2階第3委員会室

1 開会

2 会長あいさつ

3 市長あいさつ

4 諮問

- ・「令和4年度寄贈作品」について
- ・「令和5年度事業計画（案）」について

5 報告事項

- (1) 令和3年度事業実績について 資料1（P1～P5）
- (2) 令和4年度事業取組状況について 資料2（P6～P8）
- (3) 梅野記念絵画館運営課題について 資料3（P9～P13）

6 審議事項

- (1) 令和4年度寄贈作品について 資料4（P14～P16）
- (2) 令和5年度事業計画（案）について 資料5（P17～P20）

7 答申

8 その他

9 閉会

(1) 令和3年度事業実績について

令和3年度 東御市総合交流促進施設事業

《事業総括表》

月	常設展	大展示室	ふれあい館	ホール
4月	梅野コレクション展Ⅰ (牧野克次・中村忠二 他)	4月10日～5月16日 館所蔵品精選展 令和2年度新規収蔵作品 を含めて	4月24日～5月16日 DJみそしるとMGごはん 絵本原画展	4/27 ナイトミュージアム
5月				5/1 DJみそしるとMGごはん絵本 原画展WS
6月		6月5日～7月28日 第20回私の愛する一点展	6月5日～7月28日 Life with Art	6/25 ナイトミュージアム
7月				7/24 友の会 美術サロン 7/24 ナイトミュージアム (ハー ブ演奏会)
8月	梅野コレクション展Ⅱ (フェルディナンド・ ホドラー・菅野圭介 他)	8月8日～10月17日 河野扶展 向うからやっ てくるもの-作意を捨て て-	8月8日～9月5日 ZINE展	8/8 河野扶展OP 8/22 ナイトミュージアム
9月			9月18日～10月17日 東信濃工芸作家展	9/12 小山菜穂子朗読会【中止】 9/18 東信濃工芸作家展OP【中 止】 9/21 ナイトミュージアム 9/23 東信濃工芸作家展関連ワー クショップ
10月		10/3 東信濃工芸作家展関連ワー クショップ 10/17 クロージングトークイベ ント		
11月		11月3日～12月12日 保科豊巳展 -出来事としての絵画、仕掛けの構造 - (個展)		11/3 保科豊巳展オープニングレ セプション 11/19 ナイトミュージアム
12月			12/5 絵手紙ワークショップ 12/12 アンコールハーブ演奏会	
1月	収蔵庫整理期間			
2月	梅野コレクション展Ⅲ (林十江、玉村方久 斗)	2月5日～3月27日 荘司貴和子展	市民ギャラリー (みまき絵画会)	2/17 ナイトミュージアム
3月				3/18 ナイトミュージアム

「展示事業」

ア 常設展・コレクション展

期間	展覧会名	概要	来館者 (人)
4月～7月	梅野コレクション展Ⅰ	牧野克次・中村忠二 他	
8月～12月	梅野コレクション展Ⅱ	フェルディナンド・ホドラー・菅野圭介 他	
2月～3月	梅野コレクション展Ⅲ	林十江・玉村方久斗 他	

イ 展示室

期間	展覧会名	概要	来館者 (人)	開催日数 (日)	一日平均 (人)
4月10日 ～ 5月16日	館所蔵品精選展 令和2年度新規収蔵作品を含めて	令和2年度に寄贈・寄託いただいた作品を中心に、絵画館のコレクションから精選した作品を展示。	737	33	22
6月5日 ～ 7月28日	第20回私の愛する一点展	梅野記念絵画館友の会の会員が、めぐりあいの喜びや作品に寄せる思いを伝えるため、年1回所有する作品を持ち寄って展示する公募展覧会。	523	46	11
8月8日 ～ 10月17日	河野扶展 向うからやってくるもの-作意を捨てて-	梅野隆が強い関心を持った画家のひとりであり、平成25年に展覧会を開催。この度遺族及び関係者からまとまった河野扶の遺作の寄贈申し出があったため、氏の画業を通覧し、改めてその画業を顕彰。	934	62	15
11月3日 ～ 12月12日	保科豊巳展 -出来事としての絵画、仕掛けの構造-	保科豊巳東京藝術大学名誉教授が東藝術大学を退官されたことを記念し、地元後援会が主催で凱旋展示を実施。	611	35	17
2月5日 ～ 3月27日	荘司貴和子展	平成25年に荘司貴和子展を開催し、平成28年には57点の荘司作品が当館に寄贈された。当館の所蔵作品の主軸となる作家の一人となっている。当館を代表する収蔵作家として調査・研究を実施した成果を還元する展覧会。	473	33	14

「展示事業」

ウ ふれあい館

期間	展覧会名	概要	来館者 (人)	開催日数 (日)	一日平均 (人)
4月24日 ～ 5月16日	DJみそし るとMCご はん絵本原 画展	NHKEテレ「ごちそうDJ」へのレ ギュラー出演中のDJみそしるとMCごは ん。一昨年、今年に出版された絵本「みよ こ～たまごのなかのひみつ～」 「となりの おやつ」の原画約50点の展示で彼女のア ートワークを概観。	716	33	22
6月5日 ～ 7月28日	Life with Art展	北欧ヴィンテージ家具と当館所蔵品で展示 室を構成。美術をもっと身近に感じていた だきたく、生活感のある空間で絵画を鑑賞 する機会の創出を試みた。美と生活を共に するライフスタイルを本展で提案。	555	46	12
8月8日 ～ 9月5日	ZINE展	ZINEはmagazine (雑誌) のZINE。ひとり出 版社カラーボックス パブリッシングがこれ までに手掛けてきた冊子や資料として集め たものなどの膨大なコレクションから、よ りすぐりのZINEを展示。	255	25	10
9月18日 ～ 10月17日	東信濃工芸 作家展	市内在住の陶芸作家角りわ子氏を中心に、 地元を拠点に活動する作家の存在や作品を 知ってもらおうと始まった展示会。今年 は人間国宝宗廣力三を父に持つ東御市在住 作家 故宗廣佳子氏の作品を中心に展示。	1,185	25	47
2月5日 ～ 3月27日	市民ギャラ リー	みまき絵画会展よるグループ展を開催。	594	14	42

「その他関連事業等」

ア 展示関連事業

企画展名	実施日	事業名	内容	参加者 (人)
DJみそしるとMCごはん絵本原画展	5月1日	ワークショップ	アーティスト本人による読み聞かせとモビールを作るワークショップ	44
DJみそしるとMCごはん絵本原画展	常設	常設ワークショップ	オリジナルみよこを作ろう	52
河野扶展	8月8日	オープニングレセプション	オープニング講演 講師：すどう美術館館長 須藤一郎氏	20
東信濃工芸作家展	【中止】	オープニングレセプション	琴演奏会を最終日に延期（長野県医療非常事態宣言を受け）	
東信濃工芸作家展	9月23日	ワークショップ	出品作家によるワークショップ 3ブース	29
東信濃工芸作家展	10月3日	ワークショップ	出品作家によるワークショップ	12
東信濃工芸作家展	10月17日	クロージングイベント	宗廣佳子さんを語る会 琴演奏会	25
保科豊巳展	11月3日	オープニングレセプション	オープニング講演 講師：保科豊巳氏	38

イ ホール活用事業

実施日	事業名	内容	参加者 (人)
4月27日	ナイトミュージアム	現館長×前館長・前副館長によるトークセッション	14
7月24日	梅野記念絵画館友の会 第一回八重原の丘 美術サロン	前友の会会長秋山功氏と大竹永明館長による 美術コレクターに関する対談	24
7月24日	ナイトミュージアム	地元ハープ奏者竹内遥香氏によるハープ演奏会	25
【中止】長野県医療非常事態宣言を受け	小山菜穂子朗読会	元テレビ信州アナウンサー小山菜穂子氏による朗読会	
9月21日	ナイトミュージアム	地域おこし協力隊藤井幸子氏によるペンライトワークショップ	39
12月5日	絵手紙教室	絵画館恒例の絵手紙ワークショップ	18
12月12日	アンコールハープ演奏会	地元ハープ奏者竹内遥香氏によるハープ演奏会	71

ウ 図録等

図書名	内容	発行部数
河野扶展 向うからやってくるもの -作意を捨てて-	河野扶展図録	500

エ 収蔵品の貸出実績について

期間	作家名	貸出先	展覧会名	点数
5月1日 ～ 5月30日	菅野圭介	安曇野市豊科近代美術館	器展 ～古代南イタリア土器から絵画の中の器まで～	4点

「入館者数・入館料実績」

ア 入館者数・入館料

R 2	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数 (人)	224	534	242	285	225	447	766	449	162	0	97	596	4,027
入館料 (千円)	63	136	61	80	66	101	76	0	0	0	210	111	903

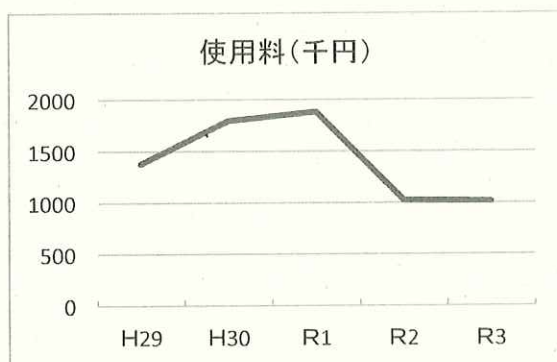
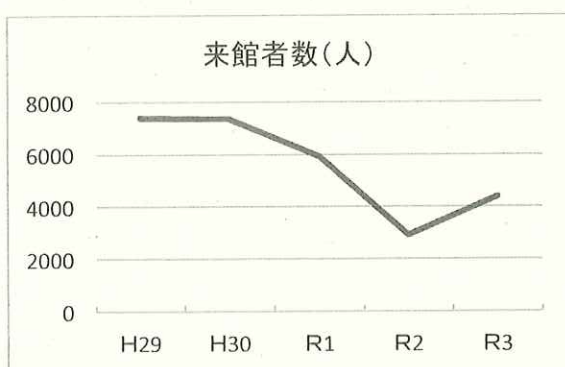
※入館者数は鑑賞目的にて来館した人の数を集計

イ 過去5年間の推移

区 分	H29	H30	R1	R2	R3	前年比
開館日数 (日)	276	258	251	221	209	95%
来館者数 (人)	7,398	7,357	5,931	2,913	4,396	151%
内訳： 一般	1,509	1,890	2,176	1,414	1,524	108%
小中学生	192	310	319	44	343	780%
割引	246	308	114	171	97	57%
会員	851	922	863	467	655	140%
招待減免	1,394	1,308	492	313	648	207%
喫茶	265	339	248	251	91	36%
その他 (ふれあい館含む)	2,941	2,280	1,719	253	1,038	410%
使用料(千円)	1,377	1,794	1,881	1,029	1,016	99%

※使用料にはその他収入が含まれます。

ウ 過去5年間の来館者、使用料(入館料)の推移



(2) 令和4年度事業取組状況について

令和4年度 東御市総合交流促進施設事業計画

《事業予定表》

月	常設展	大展示室	ふれあい館	ホール	
4月	梅野コレクション展Ⅰ (玉村方久斗、谷中安規)	4月9日～6月5日 館所蔵品精選展 令和3年度新規収蔵作品 を含めて	4月9日～6月5日 はらぺこめがね展 楽しや食事	4/15-16 はらぺこめがね公開制作	
5月				4/17 はらぺこワークショップ・ナイトミュージアム 4/30 はらぺこコンサート 5/29 にくのこと	
6月	梅野コレクション展Ⅱ (栗原忠二、チャールズワーグマンJr)	6月18日～8月28日 第21回私の愛する一点展	6月18日～8月28日 もう一度観たい私の愛する一点展		
7月				7/14 ナイトミュージアム	
8月				8/12 ナイトミュージアム	
9月	梅野コレクション展Ⅲ (相吉沢久、酒井亜人)	9月10日～11月27日 夢の造形化 伊藤久三郎の世界	9月10日～10月16日 東信濃工芸作家展 vol. 07	9/10 伊藤久三郎 オープニングレセプション	
10月				9/19 東信濃工芸作家展 オープニングレセプション 10/1 東信濃工芸作家展 ワークショップ	
11月				10月29日～11月27日 堀田光彦展 Empathy	11/8 ナイトミュージアム
12月				収蔵庫整理期間	12月10日～1月22日 市民ギャラリー
1月					
2月	梅野コレクション展Ⅲ	2月4日～3月26日 荘司貴和子展vol. 02	2月4日～3月26日 市民ギャラリー		
3月				3/7 ナイトミュージアム	

「展示事業」

ア 常設展・コレクション展

期間	展覧会名	概要	来館者 (人)
4月～6月	梅野コレクション展Ⅰ	玉村方久斗・谷中安規	
6月～8月	梅野コレクション展Ⅱ	栗原忠二・チャールズワーグマンJr	
9月～1月	梅野コレクション展Ⅲ	相吉沢久・酒井亜人	
2月～4月	梅野コレクション展Ⅲ	(未定)	

イ 展示室

期間	展覧会名	概要	来館者 (人)	開催日数 (日)	一日平均 (人)
4月9日 ～ 6月5日	館所蔵品精選展 令和3年度新規収蔵作品を含めて	令和3年度に寄贈・寄託いただいた作品を中心に、絵画館のコレクションから精選した作品を展示。	1,410	49	29
6月18日 ～ 8月28日	第21回私の愛する一点展	梅野記念絵画館友の会の会員が、めぐりあいの喜びや作品に寄せる思いを伝えるため、年1回所有する作品を持ち寄って展示する公募展覧会。	764	67	11
9月10日 ～ 11月27日	夢の造形化 伊藤久三郎の世界	昭和61(1986)年に偶然、梅野隆が伊藤久三郎の作品を見ることで”再発見”された。菅野圭介と並び梅野コレクションの中核となっており、伊藤の後半期の作品を中心に展観する。			
2月5日 ～ 3月27日	荘司貴和子展 vol.02	平成25年に荘司貴和子展を開催し、平成28年には57点の荘司作品が当館に寄贈された。当館の所蔵作品の主軸となる作家の一人となっており、令和2年度～3年度の2回にわたり展覧会を行う。			

ウ ふれあい館

期間	展覧会名	概要	来館者 (人)	開催日数 (日)	一日平均 (人)
4月9日 ～ 6月5日	はらぺこめがね展 楽しや食事	「食べ物と人」をテーマに幅広く活動している絵本作家、原田しんや、関かおりの夫婦イラストユニットはらぺこめがねのアートワーク展。東御市の農生産物を彼らのアートワークと共に紹介。東御市の食文化に美術館からアプローチし、地域の子どもたちと一緒に地元の食文化の再発見を試みた。	1,410	49	29
6月18日 ～ 8月28日	もう一度観たい私の愛する一点展	第1回から20回までの私の愛する一点展の出展作品の中でもう一度観たい作品を展示。	847	67	13
9月10日 ～ 10月16日	東信濃工芸作家展	市内在住の陶芸作家角りわ子氏を中心に、地元を拠点に活動する作家の存在や作品を知ってもらおうと始まった展示会。今年度は木工作家を中心に展観。	966	32	30
10月29日 ～ 11月27日	堀田光彦展 Empathy	地域おこし協力隊として活躍した彫刻作家堀田光彦の展覧会。3年間の協力隊活動の成果と鑄金作家としての作品を展示する。			

「その他関連事業等」

ア 展示関連事業

企画展名	実施日	事業名	内容	参加者 (人)
はらぺこめがね展 楽し や食事	4月15.16 日	公開制作	2m×3mのキャンバス地にはらぺこめが ねが東御市に滞在中に食べた食事をモ チーフにした作品を美術館で公開制作。	110
はらぺこめがね展 楽し や食事	4月17日	ワークショップ	はらぺこめがねオリジナルはらぺこペー パーをちぎって段ボールに貼って、オリ ジナルお弁当を制作。	31
はらぺこめがね展 楽し や食事	4月30日	コンサート	テレビドラマ深夜食堂でおなじみの福原 希己江さんによるおいしい食べ物の歌を 中心としたコンサートを開催。	37
はらぺこめがね展 楽し や食事	5月29日	食育イベント	東御市若手農業者と食肉についての食育 講話や仔牛のスケッチ大会、アーティスト によるライブ等実施。	61
夢の造形化 伊藤久三郎	9月10日	オープニングレセプ ション	美術史家 天野一夫氏をゲストに迎え、 大竹館長とのクロストーク。	12
東信濃工芸作家展	9月19日	オープニングレセプ ション	建築家 中村好文氏をゲストに迎え、出 品作家谷進一郎氏とのクロストーク。	45
東信濃工芸作家展	10月1日	ワークショップ	出品作家によるワークショップ 2ブー ス	18

イ ホール活用事業

実施日	事業名	内容	参加者 (人)
【中止】本人体調不良に より	小山菜穂子朗読会	元テレビ信州アナウンサー小山菜穂子氏 による朗読会	

ウ 図録等

図書名	内容	発行部数
夢の造形化 伊藤久三郎	夢の造形化 伊藤久三郎 図録	500

エ 収蔵品の貸出実績について

期間	作家名	貸出先	展覧会名	点数
7月30日 ～ 10月16日	青木繁	アーティストゾン美術館	ふたつの旅 青木繁 坂本繁二郎	4点
10月29日 ～ 1月22日	青木繁	久留米市美術館	ふたつの旅 青木繁 坂本繁二郎	4点

(3) 梅野記念絵画館運営課題について

「梅野記念絵画館」地域の連携・経営管理の検討

ア 設置、運営の状況

1) 総合交流促進施設（梅野記念絵画館）

①設置状況（設置条例より）

- 設置 ・目的 市民の交流、文化活動の高揚、コミュニティの多目的活動に寄与する
・施設 梅野記念絵画館、ふれあい館
- 事業 ・美術品等の収集、展示
・美術に関する調査研究及び、講演会、講習会の開催
- 開館 9時30分～17時
- 休日 月曜日、国民の祝日の翌日、12月28日～翌年1月4日

イ 絵画館等と地域の連携

1) 地域社会との連携

- 【課題】 地域社会とどのようなかかわりをもって、どのように共生していくかが課題である。
- 【検討方針】 ふれあい館活用検討会を開催し、ふれあい館を活用した地域との連携策を模索する。
- 【検討経過】 平成30年度～平成31年度にかけ3回の検討会を開催し、3つの方針（案）を策定。
- 【取組方針】 本来の「地域の交流の場」という施設の活用目的を元に ①地域コーディネート ②若年層への訴求 ③普及事業の3つの方針のもと活用する。

2) 周辺施設との連携

- 【課題】 本施設は、芸術むら公園の中にあり、様々な年代の利用がある。実施されるイベントや周辺施設や企業とタイアップすることで、訪れる目的が増え、来館者も増えることが見込むことができ、具体的な連携策が必要である。
- 【検討方針】 地域づくり支援室を中心に芸術むら公園にぎや会議に参加し、エリアマネジメント視点で、芸術むら公園関連施設との具体的な連携策を模索する。
- 【検討経過】 令和2年9月の第一回会議に参加し、地域の方々等ステークホルダーと課題の洗い出しと共有を行った。コロナ渦で以降会議は開催されていない中、本年度庁内の関係課による会議が開催された。

- 【経過】 わざわざが展開する公園内カフェの間 tou という写真館出張撮影会 2022 を共催し、会場の一部提供等で協力を行った。

ウ 絵画館等のマネジメント

1) 学芸員の能力向上

【課題】 各地の美術館ではマネジメントや効率化が求められている中で、本市の絵画館等においても、研修等により学芸員の能力を高め、豊かな個性と付加価値をつけていくことが必要である。展示のスキルを上げるべきである。(令和3年度三澤委員より)

【検討方針】 学芸員の雇用、育成方針について検討する。

【取組方針】 学芸員のシンビズムへの派遣により、学芸員の能力を高める。

【経過】 館長のシンビズムへの参加。

2) マーケティングの重要性

【課題】 厳しい財政運営が続き、公共施設の再編や統合も考えられる中、いかにすると美術館のサービスを多くの方々に利用してもらうことができるかをマーケティング手法により計画性し実行することが必要である。

【検討方針】 アンケート、SNS の活用、ターゲットを絞る等マーケティング計画について検討する。

3) 開館日、時間、使用料などの柔軟性

【課題】 来館者の増加を図るため、開館時間を、季節や展覧会に応じて変更することや、開館日、企画展に合わせた観覧料の調整等、一定のルールに柔軟性を持たせることが必要である。入館料の検討とともにその具体案として入館パスポートについて検討してもらいたい。

【検討方針】 開館日、時間、使用料は条例定め事項のため、見直すべき条文を洗い出し、改正を検討する。

【取組内容】 令和2年度より満月の日に延長開館を行うナイトミュージアムを開催している。絵画館のロビーの窓から見える、月の光が映し出す浅間山の稜線や明神池に映る月の美しさをPRし、異なる切り口からの来館者増を目指したい。

【経過】 使用料については、令和3年度条例改正を行った。常設展示 300 円 (200 円)、特別企画展はその都度定める規定を加えた。入館パスポートについては引き続き検討する。

4) 企画展の在り方

【課題】 梅野記念絵画館における企画展は物故作家を中心に、埋もれた作家を掘り起こし、顕彰することを趣旨としており、今後も館の個性を維持する重要なテーマである。一方地域の美術館として、地域に焦点を当てる企画を実施し、この双方を

両輪に館運営をする必要がある。

【検討方針】 数年計画の中で地域やコストパフォーマンスを意識した企画展の開催を検討していく必要がある。

【検討経過】 ふれあい館を活用し、地域との連携や関わりを模索する。また、ふれあい館を地元の人に活用していただくために貸館規定を条例に盛り込むことを検討する。

【取組内容】 令和2年度はGWに地域の子どもたちに向けた絵本の原画展や私の愛する一点展と連動させ、生活の中に美を取り入れることを地域に提案する展示、地元作家の展示、東信濃工芸作家展を火のアートフェスティバルの時期に合わせ、工芸のお祭りとして地元と共に盛り上げていくことを狙いとする等、地元を意識した企画をふれあい館の企画として盛り込んだ。

令和3年度も同様の方向性でふれあい館での展示内容を実施した。また、ふれあい館を地元の人に活用していただくために令和3年度に貸館規定を条例に加えた。

5) 収集・保存事業-1

【課題】 梅野記念絵画館を地域の方々に身近に感じていただくために、絵画館が持つ多くの情報を市民と共有すべきである。

【検討方針】 収蔵品情報や取得作品について積極的な情報提供の制度を検討いたします。

【取組内容】 必要な情報を提供するためのプラットフォームの整備として、令和2年度にホームページを改修した。現在、館の主要作品である青木繁、菅野圭介、伊藤久三郎、荘司貴和子、今西中通の作品情報についてデジタルアーカイブ化事業を実施、HPで公開中。(令和2年度)。また、以降も総務省が推進するデジタルアーカイブ化への着手を検討。

5) 収集・保存事業-2

【課題】 建物が築20年以上経過し、空調設備の不具合が出てきた。収蔵庫には空調設備がなく、近年の異常気象が続く中、作品の収蔵環境に不安があり、早急な対策が必要である。

【検討方針】 合併特例補助金や公共施設適正管理事業債を活用した改修を実施を検討する。

【取組内容】 収蔵庫は合併特例補助を活用し、令和2年度に除加湿器の設置工事を行った。令和3年度には施設全体の空調改修を冬季休館中に実施。加えて、移動式の加湿器4台の導入を合わせて実施した。また、絵画館入口へのアプローチ道(木道)についても修繕を実施した。

5) 収集・保存事業-3 (新)

【課題】 近年作品の寄贈の申出が増え、収蔵庫の収蔵率が上昇。今後は収蔵方針を定め、今まで以上に厳選する必要がある。(令和3年度美術品資料選定委員会)

【検討方針】 収蔵方針について検討する。

【取組内容】 収蔵方針素案を策定中。

6) 友の会との協力体制の見直し

【課題】 固定客の確保のために会員の増加を図らなければならないが、会員の固定化、高齢化により今後ますます減少していくことが見込まれる。また、友の会業務と美術館運営業務の混同が見られるため整理が必要。

【検討方針】 会員制度等諸制度の見直しについて、友の会と検討していく。

【検討経過】 絵画館館長と友の会幹事による打合せ、意見交換を行いながら見直しを行っている。令和2年度は友の会主催の「美術サロン」を私の愛する一点展の期間中に開催。友の会会員から登壇者を招き、絵を手にし、観る楽しさを館長とのクロストークを交えて紹介した。コロナ渦ということもあり、なかなか開催が難しくなっているのが現状。友の会の事務は美術館業務と分けて、友の会長野幹事を中心に推進する体制を取っていただいている。

7) ショップ、喫茶

【課題】 ショップや喫茶は、美術館を訪れる者の楽しみの中であるが、人と予算が限られる中で、十分なサービスの提供の可否が課題である。

【検討方針】 令和5年度は喫茶・物販に関し、外部委託の検討を行う。

8) ボランティア

【課題】 人と予算が限られる中で、サービスの質を落とさず運営を行うためには、美術館に関わる人材を多く生み出すことが課題である。

【検討方針】 ボランティアの育成や活用について他の美術館の事例について研究し、人材確保の課題に向けて検討する。友の会会員に対する事前内覧会やギャラリートークを開催し、館の企画展の趣旨や内容を理解・共有していただく機会を設け、展覧会の周知や盛り上げに関し共に活動をできる体制の構築を試みる。

9) 博物館登録について

【課題】 博物館登録がなされていないことは、作品の貸借において絵画館に対する他館からの信頼性を欠くこととなり、企画推進の足かせとなる。また、今後登録要件の補助金等が出てくる可能性がある。(令和元年度は博物館登録をしている館に対し、文化庁による博物館クラスター形成支援事業が実施された)

【検討方針】 博物館登録を令和3年度に行う。

【経過】 設立の経過として農業施設という位置づけで補助金を活用し、建設された施設であるため、用途変更等の手続きがあり、長野県地域振興局、長野県生涯学習課等との協議を実施してきた。しかし、農業施設という位置づけで補助金を活用した経過から、建物が耐用年数50年を迎えるまでは、用途変更は難しい状況にある。

10) 美術館の新たな役割

- 【 課 題 】 文化芸術が一体何ができるのかが問われている時代の中で、もう少し違った文化の役割としての地域の中で何ができるのかということを検討する必要がある。例えば東信の美術だけではない役割の芸術文化にかかわっていくものを所管する機関、そういうところと一緒に連携して何ができるかというのを問いかけていくと、そういうことが市民に対する、また広域に広がっていく、そういうきっかけになっていくのでは。(令和2年度運営委員会保科委員より) 文化というものを美術だけで捉えずに、演劇とか音楽等食も文化ですから、その多様な文化をつなぎ合わせる必要がある。(令和2年度運営委員会三澤委員より)
- 【 検討方針 】 美術館と学校の連携や教育普及の重要性が浸透しつつある中で、現在は学校との一層の連携を模索中。また、ふれあい館における展覧会で地域性や身近なテーマ性を持たせた展覧会を開催し、他分野との連携を実施。
- 【 経 過 】 11月に学校と美術館をつなぐ教員向け研修会を文化・スポーツ振興課で開催した。またふれあい館で開催した「はらぺこめがねアートワーク展」では、食をテーマに創作活動を行う彼らのアートワークのうち、東御市の食文化に関わる作品という枠でテーマ展示した。その中で市内の畜産業者と食育に関する事業を実施した。(別添資料)

11) 美術館の新たな役割 (新)







- 【 課 題 】 今美術をやる若者の数が激減しており、美術館の中に若い世代を入れていくことが喫緊の課題。長野県は自然が豊かであり、そういう自然観を活かしてクリエイティブな能力のある子を育てていく。そういう役割を美術館も考えるべき。(令和3年度保科委員より)
- 【 検討方針 】 自然観や地域の風土を活かした企画や教育普及事業について今後研究する。

エ その他







1) Wi-Fi の充実

- 【 課 題 】 令和2年度、国では giga スクール構想の中で、2,300億円を投じ、Wi-Fi の充実を図る事業を実施している。またコロナ渦で美術館の利用ニーズが変わっている中でインフラ整備が重要である。(令和2年度運営委員会三澤委員より)
- 【 検討方針 】 性能的な点含め、所管課に確認する。
- 【 検討経過 】 美術館では、館内独自の Wi-fi 整備は完了している。市内においては S S I D 認証が必要な1日3回、1回30分のフリーアクセスポイントが東御市役所、湯ノ丸高原、海野宿、田中駅、道の駅「雷電くるみの里」、芸術むら公園に設置。また学校については、全小学校の普通教室、特別教室にアクセスポイントが整備されている。


(1) 令和4年度取得作品(案)について

No.	題名 / 作家	年代	技法	サイズ	写真	寄贈者	備考
1	壁の詩	1964	油彩	6号 F		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	31.8×41.0			
2	無題1	1960	油彩	4号 F		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	24.3×33.4			
3	モニュメント	1984	油彩	12号 M		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	40.9×60.6			
4	気化2	1996	油彩	8号 F		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	38.0×45.5			
5	かげり	1998	油彩	6号 P		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	27.3×41.0			
6	相	不明	油彩	10号 F		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	45.5×53.0			

(1) 令和4年度取得作品(案)について

No.	題名 / 作家	年代	技法	サイズ	写真	寄贈者	備考
7	私の壁8	1999	油彩	12号 F		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	50.0×60.6			
8	二つの形2	不明	油彩	12号 F		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	50.0×60.6			
9	赤の浸食	1999	油彩	25号 P		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	60.6×80.3			
10	刻印	1999	油彩	30号 F		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	72.8×91.0			
11	埋没する相2	不明	油彩	50号 P		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	116.7×80.3			
12	カオス1	2000	油彩	50号 F		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	90.9×116.7			

(1) 令和4年度取得作品(案)について

No.	題名 / 作家	年代	技法	サイズ	写真	寄贈者	備考
13	気流	2001	油彩	100号F		佐藤和男	2021年 河野扶展
	河野扶		キャンバス	130.3×162.1			
14							
15							
16							
17							
18							

令和5年度 東御市総合交流促進施設事業計画

《 事業予定表 》

月	常設展	大展示室	ふれあい館	ホール
4月				
5月	梅野コレクション展Ⅰ	4月8日～6月11日 館所蔵品精選展	4月8日～6月11日 the Ayako Fudamoto Experience 現代の食文化（仮）	5/6 NM
6月				6/4 NM
6月12日～6月24日 大展示室展示替のため休館				
7月	梅野コレクション展Ⅰ	6月25日～8月27日 第22回私の愛する一点展	6月25日～8月27日 市民ギャラリー	7/3 NM
8月				8/2 NM
8月28日～9月8日 大展示室展示替のため休館				
9月			9月9日～10月15日 東信濃工芸作家展 vol.08	9/29 NM
10月	梅野コレクション展Ⅱ	9月9日～11月26日 山本弘展（仮）		10/29 NM
11月			10月24日～11月26日 市民ギャラリー	
11月27日～12月4日 大展示室展示替のため休館				
12月	梅野コレクション展Ⅱ	次回企画展準備	12月5日～12月27日 市民ギャラリー	
年末年始休館				
1月4日～1月12日 大展示室展示替のため休館				
1月				1/26 NM
2月	梅野コレクション展Ⅲ	1月13日～3月10日 上田クロニクル1923- 2023 上小洋画史100年（仮）	1月13日～3月10日 市民ギャラリー	2/24 NM
3月11日～3月18日 大展示室展示替のため休館				
3月	梅野コレクション展Ⅲ	次年度企画展準備	3月19日～3月31日 市民ギャラリー	3/25 NM

「令和5年度事業計画（案）個別企画について」

ア 大展示室

企画展 「館所蔵品精選展」

- 1) 会 期 令和5年4月8日（土）～令和5年6月11日（日）
- 2) 入 館 料 500円
- 3) 主 催 東御市梅野記念絵画館
- 4) 概 要 梅野記念絵画館では、梅野コレクションや郷土ゆかりの作家で構成された倉沢コレクションを中心にその所蔵作品数は約1,000点を超えます。本展では、当館コレクションの中から、それらコレクション作品をはじめ、展覧会を機にご寄贈いただいた作品を含む約60点を精選して紹介します。

「第22回私の愛する一点展」

- 1) 会 期 令和5年6月25日（土）～令和5年8月27日（日）
- 2) 入 館 料 300円
- 3) 主 催 梅野記念絵画館友の会
- 4) 概 要 絵画館を支える友の会の会員が一人につき一点を作品に関するエピソードや思いをつけて展示する企画。観覧者による人気作品の投票や優秀者への賞の進呈などを行います。

特別企画展 「山本弘展」(仮)

- 1) 会 期 令和5年9月9日（土）～令和5年11月26日（日）
- 2) 入 館 料 800円
- 3) 主 催 東御市梅野記念絵画館
- 4) 概 要 山本弘は、昭和5年に現在の下伊那郡豊丘村に生まれ、5歳の時に現在の飯田市中心部に転居し、昭和56年に51歳で自死するまで飯田市で活躍した洋画家です。この作家は十代の青春に太平洋戦争の混乱期を過ごし、十代前半に軍国教育を、後半に民主化教育を受けたことで、人格形成や価値観の定まる過程を失い、敗戦の翌年から自殺を試みるようになり、長期にわたるアルコール中毒のうえに縊死しました。長野県展の前身である全信州美術展に17歳で入選するほど実力のある作家でしたが、アルコールの過剰摂取が原因で脳血栓となり、手足の自由を失うことで細かな描写ができなくなります。しかしその代わりに絵具を混ぜずにパレットナイフで描いた作品は、スピード感のある奔放な筆触と美しい色彩を持ち、強い魅力を放っています。生前の素行が原因で長く地元で冷淡に扱われていましたが、関係者の尽力により評論家の針生一郎に見出され、全国的に知られるようになりました。本展は、公立美術館において初の回顧展となります。
- 5) 関連事業 9月9日（土）オープニングレセプション
- 6) 作品画像



特別企画展 「上田クロニクル 1923-2023 上小洋画史 100年（仮）」 上田市立美術館共同開催

- 1) 会 期 令和6年1月13日（土）～令和6年3月10日（日）
- 2) 入 館 料 800円（上田市美術館共通券）
- 3) 主 催 上田クロニクル実行委員会（上田市 東御市 春陽会東北信研究会 農民美術研究会ほか）
- 4) 協 力 週刊うえだ
- 5) 後 援 各メディア
- 5) 概 要

児童自由画教育運動や農民美術運動等、山本鼎が農民美術研究所を構え、上小地域に「美術」の種を撒いてから100年が経ちます。その種は農民美術研究所講師として上田地域に訪れた倉田白羊や小杉放庵、昭和の時代に活躍した岡鹿之助らにより、この上小地域に様々な美術活動を誘発し、多くの芸術家を生み出しました。山本鼎の顕彰や美術運動に関する展覧会は節目ごとにたびたび開催され広く知れ渡っていますが、彼を祖とする上小地域の近代洋画史を現代にまで総覧する展覧会は初めての試みとなります。本展では、近現代の上小地域の美術活動より、絵画作品の制作活動を中心にすえて、それらの作家や作品を紹介するとともに地域の美術史をアーカイブし、次代に残す試みとします。出品作品はそれぞれの館の所蔵作品を中心とし、地域の個人所蔵者などから借用します。

6) 作品画像



イ ふれあい館

特別企画展 「the Ayako Fudamoto Experience -現代の食文化-」(仮)

- 1) 会 期 令和5年4月8日(土)～令和5年6月11日(日)
- 2) 入 館 料 500円
- 3) 主 催 東御市梅野記念絵画館
- 4) 協 力 札本彩子
- 5) 概 要 幅広い世代の絵画館利用促進のため、人にとって最も身近な「食」をテーマに、令和2年度より展覧会を開催しています。特に令和3年度は地域の農産物をテーマに彼らの作品を展示し、地域の食文化にも触れていきました。今年度も同様に「食」をテーマとし、「フードロス」など社会課題を盛り込み、中高生を訴求対象にした展覧会を開催いたします。
自らがコンビニ弁当の生産工場やウーバーイーツといった食の生産・流通現場へと身を投じ、その実体験をもとに食品サンプルを駆使しながら現代の食文化を考察する札本彩子の展覧会を開催します。彼女の食品サンプルによる表現は直接的に人々に作用し、作家のコンセプトをわかりやすく鑑賞者に伝えるため、鑑賞者の美術への造詣の有無を問わず、現代の食文化と美術作品との往来を可能にします。そこから見える現代の食文化の世相や課題を中高生世代の地域の子どもたちを対象に共有することを試みます。
- 7) 関連事業 食品サンプルワークショップ 等
- 8) 作品画像



「東信濃工芸作家展 vol.08」(同時開催 火のアートフェスティバル)

- 1) 会 期 令和5年9月10日(土)～令和5年10月16日(日)
- 2) 入 館 料 無料
- 3) 主 催 東御市梅野記念絵画館
- 4) 協 力 角りわ子
- 5) 概 要 市内在住の陶芸作家角りわ子氏を中心に、地元を拠点に活動する作家の存在や作品を知ってもらおうと始まった展覧会です。令和4年度と同様、火のアートフェスティバルの開催時期に合わせることで、工芸のお祭りの一体感の醸成に寄与することをねらいとし、多くの方々に鑑賞いただく機会を作ります。